

平成 26 年度 教育に関する事務の点検評価報告書の概要

「あいちの教育に関するアクションプランⅡ」実施状況報告書

■ 教育に関する事務の点検・評価報告書について

1 趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 26 条では、教育委員会は毎年、教育に関する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行うことなどが規定されている。

この報告書は、同条に基づき作成するもので、議会へ提出するとともに公表する。

また、「あいちの教育に関するアクションプランⅡ」に基づく取組状況の年次報告書としても位置付ける。

2 学識経験者の知見の活用

点検・評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされており、報告書案に対して、以下の方々から意見をいただいた。

氏名	所属等
中野 靖彦	愛知淑徳大学文学部教育学科教授
今川 峰子	中部大学現代教育学部幼児教育学科教授
柴田 好章	名古屋大学大学院教育発達科学研究科教育科学専攻教授

(敬称略)

3 点検・評価の手法・構成

- (1) 「あいちの教育に関するアクションプランⅡ」で掲げた 4 つの重点目標と、その目標を実現するための基盤となる「魅力ある教育環境づくり」に沿って 5 章構成とし、アクションプランⅡ策定後に生じた課題についても記載
- (2) 各章では、本県において平成 26 年度に積極的に取り組んだ施策を 18 項目の主要テーマとして設定し、テーマごとに、施策の実施状況、取組の成果、課題、今後の方向性（短期：28 年度予算化を含め概ね 27 年度中に取り組むもの、長期：具体的な年度は確定していないが将来に向けて取り組むもの）を記載
- (3) 県教育委員会の取組だけでなく、知事部局、警察、市町村教育委員会や私立学校、学校の取組もあわせて掲載
- (4) アクションプランⅡで設定した「効果指標」の達成状況について、各章の最後に記載
- (5) 個別施策の実施状況は、一覧表形式で整理
- (6) 学識経験者からの意見、児童生徒への意識実態調査結果（平成 26 年度実施）、平成 26 年度第 3 回県政世論調査結果を巻末に掲載

第 1 章 幅広い県民の参加による道徳性・社会性の向上

★：課題 ☆：26 年度実施状況

テーマ 1 いじめ問題等への対応 **本冊 2P**

★ 未然防止・早期発見・早期対応を基本とした取組の強化が必要

☆ スクールカウンセラーの配置拡大、電話相談の継続実施、「愛知県いじめ防止基本方針」の策定、「愛知県いじめ問題対策連絡協議会」・「愛知県いじめ問題対策委員会」・「愛知県いじめ問題調査委員会」の設置、「生徒指導リーフ」による関係機関との連携の働きかけ

【今後の方向性】

〈短期〉「生徒指導リーフ」を活用した校内指導体制の充実

〈長期〉スクールカウンセラーの配置拡充、関係機関との連携体制の整備・充実

テーマ 2 モラルの向上 **本冊 6P**

★ 子どもたちが道徳性・社会性を身に付けるためには、家庭・地域・学校が一体となった取組が必要

☆ 教育キャンペーン（重点テーマ：「スマートフォン・携帯電話の安心安全利用」）の実施、小中学校における地域・家庭と連携した体験活動等の実施、Web サイト「モラルBOX」による活動内容の普及・啓発

【今後の方向性】

〈短期〉教育キャンペーン（重点テーマ：「スマートフォン・携帯電話の安心安全利用」）の継続実施、「モラルBOX」による家庭・地域・学校への道徳教育の情報発信の継続

〈長期〉家庭・地域・学校の連携による粘り強い取組の充実

テーマ 3 幼児教育の充実 **本冊 10P**

★ 質の高い幼児期の教育・保育を保障し、小学校へ円滑に接続していくことが重要、子育てを地域で支えることが必要

☆ 「幼児教育研究協議会」における保育者の資質と専門性の向上に関する中間報告書のとりまとめ、地域の家庭教育を担う人材の養成、家庭教育研修会・子育て支援地域交流会の開催

【今後の方向性】

〈短期〉「保育者の資質・専門性向上について」の実践取組例を掲載した手引きの作成、家庭教育研修会の講師養成

〈長期〉「愛知の幼児教育指針」に基づく幼保小の円滑な接続等の取組の推進

第 2 章 発達段階に応じたキャリア教育の充実

テーマ 4 職場体験活動・インターンシップ等の推進 **本冊 18P**

★ 人間関係を築く力や課題を発見・解決していく力などを育むためには、キャリア教育に系統的に取り組むことが必要

☆ 小・中学校、高校、特別支援学校における職場体験・インターンシップ、専門高校等におけるプロによる指導、工業高校における企業実習の実施

【今後の方向性】

〈短期〉小・中学校全校における年間指導計画の作成・充実、普通科高校における取組の強化、特別支援学校における「就労支援アドバイザー」の配置

〈長期〉地域・産業界・関係機関との連携体制の構築、高校専門学科における長期インターンシップの実施、特別支援学校における新たな就労支援システムの構築

テーマ5 産業教育の充実 **本冊 24P**

- ★ 技術の高度化や社会経済の国際化などの時代の変化に適切に対応できる産業人材の育成のため、産業教育の計画的な充実が必要
- ☆ 専門高校生の活躍を幅広く紹介する「あいちさんフェスタ」の開催、地域の企業と連携した技能習得講座の開催、愛知総合工科高等学校の開設準備（専攻科の「公設民営化」を目指した国家戦略特区の提案）

【今後の方向性】

- 〈短期〉愛知総合工科高等学校の開設（平成28年4月）準備、地域に密着した「あいちさんフェスタ」の開催
- 〈長期〉長期的な視点に立った産業教育施設・設備の整備計画の策定、地域の産業団体や市町村との連携による体験活動の充実

テーマ6 グローバル化への対応 **本冊 28P**

- ★ グローバル化の進む社会で活躍できる人材を育成するため、英語力・コミュニケーション力の向上、自国の歴史文化に対する理解促進が重要、日本語教育を必要とする児童生徒への支援の充実が必要
- ☆ スーパーイングリッシュハブスクール事業を通じた高校と小・中学校の連携による地区全体の英語力の強化、イングリッシュキャンプ in あいちによる英語への自信・興味・関心の向上、高校生の海外留学の促進、日本語指導を行う加配教員の配置・研修による教員の指導力の向上

【今後の方向性】

- 〈短期〉英語教育の指導者研修の充実、高校と小・中学校の連携促進、日本語指導担当教員の指導力の向上
- 〈長期〉自国の文化を理解した上で対等に語り合うことのできる力を身に付けた人材の育成のための継続的取組、外国人生徒教育支援員の配置拡充

第3章 学習意欲の向上・確かな学力の育成**テーマ7 学力の向上** **本冊 38P**

- ★ 本県の小・中学校の児童生徒において、「教科の学習への関心が低い」、「学力調査の結果の活用が全国に比べ低い」等の課題が明らかになる中、学校において子どもたち一人一人に目の行き届いた指導を行うことが一層必要
- ☆ 小1、小2、中1で少人数学級を継続実施、学力調査の結果を分析し改善指針を提示、学力向上に向けた調査研究の推進（調査研究の委託（4市）・県内の指導的立場にある教員による優れた実践の研究協議）

【今後の方向性】

- 〈短期〉少人数学級・少人数指導の継続実施、調査研究の成果の県全体への普及・啓発、若手教員の指導力向上に向けた「研修の手引き」の活用の促進
- 〈長期〉国の定数改善を踏まえつつ、少人数学級の実施学年の拡大を含め少人数教育の推進の在り方を検討、地域、家庭、大学等と学校が一体となって学力向上を進める仕組みづくり

テーマ8 魅力ある学校づくり **本冊 44P**

- ★ グローバル化の進展・産業構造や就業構造の変化などに対応した学校づくりが必要、不登校であった生徒や日本語指導を必要とする外国人生徒など様々な生徒の学びの場の整備が必要
- ☆ 「県立高等学校教育推進基本計画」の策定、特色ある学校づくりの推進（国際教養化や国際理解コース、国際コミュニケーションコースの設置、「あいち科学技術教育推進協議会」での先進的な理数教育の取組、地域企業と連携した「地域ものづくりスキルアップ講座」の実施）

【今後の方向性】

- 〈短期〉基本計画を推進するための第1期実施計画（平成27年度から平成31年度まで）を策定
- 〈長期〉国の動向や学習指導要領の改善の方向を踏まえた弾力的な実施計画の遂行

テーマ9 特別支援教育の充実 **本冊 50P**

- ★ 特別支援学校の規模の過大化、長時間通学、発達障害等の児童生徒への支援、インクルーシブ教育の実施など、特別支援教育を取り巻く様々な課題への対応が必要
- ☆ 市立特別支援学校への支援（豊橋市立くすのき特別支援学校・名古屋市立南養護学校分校の開校（平成27年4月））、新設校整備に向けた計画的な取組、スクールバスの増車、通級指導教員の配置、「肢体不自由児スクールクラスターモデル事業」の実施

【今後の方向性】

- 〈短期〉知多地区・尾張北東地区の新設校の開設準備、スクールバスの増車、幼・小・中・高校の教員研修の充実、個別の教育支援計画等の作成・引継率向上
- 〈長期〉「愛知県特別支援教育推進計画」に基づいた施策の実施及び進行管理

テーマ10 持続可能な社会の担い手の育成 **本冊 54P**

- ★ 持続可能な社会の担い手の育成に向けて、平成26年度に開催された「持続可能な開発のための教育（ESD）に関するユネスコ世界会議」終了後も、ESDの取組を継続していくことが重要
- ☆ ESDの推進拠点となるユネスコスクールの加盟促進、教員向けESD研修の実施、「ESDあいち・なごや子ども会議」の開催

【今後の方向性】

- 〈短期〉ユネスコスクール交流会の開催、活動事例集によるユネスコスクール以外の学校への取組の普及
- 〈長期〉中部ESD拠点との連携による、持続可能な社会をめざすグローバル人材の育成

第4章 豊かな人生を送るための生涯学習の充実**テーマ11 生涯学習の推進** **本冊 64P**

- ★ 市町村の社会教育担当者の資質向上、県民への生涯学習情報の提供、超高齢社会に対応した生涯学習の在り方の検討、子どもの読書活動の推進が必要
- ☆ 公民館主事等の市町村社会教育担当者への研修の拡充、「学びネットあいち」のシステム改修、「生涯学習審議会」による超高齢社会に対応した施策の方向性の検討、幼少時の読み聞かせの取組の普及

【今後の方向性】

- 〈短期〉公民館主事等社会教育担当者研修会の充実、「学びネットあいち」の学習コンテンツの一層の充実、高校生の不読率の改善に向けたリーフレットの配布・活用促進、「シニア地域デビュー事業」の実施
- 〈長期〉社会教育に関する専門性の高い人材の養成、「愛知県子ども読書活動推進計画（第三次）」に基づく施策の推進、超高齢社会に対応した施策に関する提言の具体化

テーマ12 伝統文化を尊重する心の育成 **本冊 68P**

- ★ 国際社会の中で日本人として主体的に生きていくためには、日本の伝統文化への理解、尊重する態度の育成が大切
- ☆ 朝日遺跡の重要文化財の鑑賞機会の提供、体験講座、伝統文化出張講座・民俗芸能大会の開催による、県民の歴史文化に親しむ機運の醸成

【今後の方向性】

- 〈短期〉伝統文化出張講座・民俗芸能大会への参加促進、山車文化の魅力の情報発信、朝日遺跡の活用指針の策定
- 〈長期〉「山車まつり」をはじめとした本県の多様な伝統文化の県民への普及・啓発、地域活性化に向けた朝日遺跡の計画的な整備

テーマ13 スポーツプランの推進 **本冊72P**

- ★ 本県の児童生徒の体力は全国平均を下回っており、スポーツをする子としない子の二極化が顕著、県民がスポーツの魅力を感じることができる国際的なスポーツ大会等の招致・開催が必要
- ☆ 「子どもの体力向上運動プログラム」の普及、大学・企業との連携によるトップアスリートを活用したスポーツ体験教室の実施、県有スポーツ施設の利用拡大

【今後の方向性】

- 〈短期〉県スポーツ会館のリニューアル、「ラグビーワールドカップ2019」の開催支援、「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会」の競技及び合宿誘致
- 〈長期〉「子どもの体力向上運動プログラム」の着実な普及、様々な国際大会の招致・開催に向けた取組の推進

テーマ14 学校食育の推進 **本冊76P**

- ★ 偏った栄養摂取や不規則な食事などの乱れに起因した肥満や生活習慣病の増加が成長期の子どもにも見られていることから、学校における食育の推進が必要
- ☆ 栄養教諭の配置拡大、「朝ごはんコンテスト」の開催による家庭へ普及啓発、「愛知を食べる学校給食の日」の設定による地場産物の活用の促進

【今後の方向性】

- 〈短期〉学校給食における地場産物の活用促進、高等学校での食育の推進
- 〈長期〉栄養教諭の定数増（配置基準の改善）について、国への継続的な働きかけ

第5章 魅力ある教育環境づくり**テーマ15 学校施設の耐震化・老朽化対策** **本冊84P**

- ★ 平成27年度までに耐震改修完了を目指し対応中、築後50年を経過する学校施設が多く抜本的な老朽化対策は進んでいない
- ☆ 県立学校のBランク建物の耐震改修工事、体育館吊り天井落下防止対策工事の実施

【今後の方向性】

- 〈短期〉平成28年度に県立学校のBランク建物の耐震化及び体育館吊り天井の落下防止対策を完了「愛知県公共施設等総合管理計画」に基づく県立学校施設の個別施設計画の策定
- 〈長期〉非構造部材の耐震化及び個別施設計画に基づく老朽化対策の実施

テーマ16 公立学校と私立学校の連携 **本冊86P**

- ★ 中学生一人一人の希望と適性に応じた進路選択の実現を目指し、愛知の公教育において重要な役割を担う公立学校と私立学校が、引き続き連携・協調して取り組んでいくことが重要
- ☆ 平成27年度の生徒募集計画及び中学3年生の進路実現に係る公立学校と私立学校に共通する教育課題について公私間で協議

【今後の方向性】

- 〈短期〉公私間協議の充実により、具体的な対応策を検討
- 〈長期〉私学関係者の協力を得て、平成27年3月に策定した「県立高等学校教育推進基本計画」に基づき、中学生及びその保護者のニーズに合致した魅力ある県立高等学校づくりを推進

テーマ17 子どもと向き合う環境の整備 **本冊88P**

- ★ よりよい教育を実現するために、優秀な教職員の確保、適正配置、現職教職員のさらなる資質の向上、児童生徒と向き合えるよう教員の多忙化解消が喫緊の課題
- ☆ 教員採用選考試験の県内外でのPR、新たな特別選考の導入、長期勤務者の積極的な人事異動・再任用教員の適正配置、年次休暇の取得促進・時間外勤務の縮減に向けた働きかけ

【今後の方向性】

- 〈短期〉教員採用選考試験における「大学推薦特別選考」及び「社会人特別選考」の受験区分・教科の追加
- 〈長期〉校務の一層の効率化による時間外勤務の縮減に向けた継続的な取組の推進

テーマ18 教育委員会の充実 **本冊90P**

- ★ 平成26年度に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（地教行法）が一部改正され、全ての地方公共団体が首長と教育委員会を構成員とする「総合教育会議」を設置し、首長が教育に関する「大綱」を策定することとなった。
- ☆ 教育委員会会議、教育委員協議会の開催、PTA等との意見交換、学校等の実情調査、広報公聴活動（保護者向け広報誌「パレット」、Web上の「ご意見箱」）による県民の教育行政への理解促進と県民の意向の把握、改正地教行法に対応するための関係条例等を整備

【今後の方向性】

- 〈短期〉知事部局・県教育委員会が連携して、「大綱」との整合性を図りながら、平成27年度に「第三次愛知県教育振興基本計画（仮称）」を策定
- 〈長期〉「第三次愛知県教育振興基本計画（仮称）」に基づく取組の推進

■ アクションプランⅡで設定した効果指標の達成状況（目標年度：平成27年度）

	23年度	24年度	25年度	26年度
目標達成数（太枠）	1項目	4項目	3項目	3項目

第1章（重点目標1） 幅広い県民の参加による道徳性・社会性の向上

本冊 14P

効果指標	目標	23年度	24年度	25年度	26年度
① 全国学力・学習状況調査で「道徳性」「社会性」に関する項目に肯定的に答えた児童生徒数の割合（小・中学校） ・地域行事への参加、きまり・約束を守る、手助け、あいさつ、いじめ	全ての項目で全国平均を上回る（毎年度）	大震災により全国調査中止	7項目中、小中ともに4項目で上回った。	7項目中、小は5項目、中は3項目で上回った。	5項目中、小は3項目、中は2項目で上回った。
② 本県実施の調査で「道徳性」「社会性」に関する項目に肯定的に答えた生徒数の割合（高等学校）	85%	—	時間を守る 87.7% 学校のきまりを守る 90.5% ことは大切である	—	きまりを守る 80.7% 約束やきまりを守る 96.5% ことは大切である

⇒ 小学校の1項目（「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。」）以外の全項目で、22年度と比べて概ね肯定的回答の割合が増加

第2章（重点目標2） 発達段階に応じたキャリア教育の充実

本冊 34P

効果指標	目標	23年度	24年度	25年度	26年度
③ キャリア教育の年間指導計画を作成している学校の割合（小・中学校）	100%	—	小 48.6% 中 81.3%	小 54.2% 中 78.3%	小 81.7% 中 98.6%
④ インターンシップ等を実施する全日制県立高等学校の割合（21年度 73.2%）	100%	100%	100%	100%	100%
⑤ 特別支援学校高等部卒業者の一般就労の就職率（21年度 38.4%）	50%	37.7%	39.6%	38.1%	36.7%
⑥ あいち夢はぐくみサポーターの登録数（23年度新規事業）	前年度に比べて増加する（毎年度）	23事業所	349事業所	814事業所	1,241事業所
⑦ 全国学力・学習状況調査で「勤労観・職業観」に関する項目に肯定的に答えた児童生徒数の割合（小・中学校） ・将来の夢や目標、家の手伝い	全ての項目で全国平均を上回る（毎年度）	大震災により全国調査中止	小中ともに2項目全て下回った	小中ともに2項目全て下回った	1項目のみであったが、小中ともに下回った

⇒ 普通科高校における取組を強化するため、事業所の負担が軽いジョブシャドウイングの取組を推進していく。

第3章（重点目標3） 学習意欲の向上と確かな学力の育成

本冊 60P

効果指標	目標	23年度	24年度	25年度	26年度
⑧ 全国学力・学習状況調査で「学習意欲」に関する項目に肯定的に答えた児童生徒数の割合（小・中学校） ・学校の授業時間以外の勉強時間、国語、算数・数学への取組	全ての項目で全国平均を上回る（毎年度）	大震災により全国調査中止	3項目中、小は1項目で上回り、中は2項目で上回った	3項目中、小は全ての項目で下回り、中は2項目で上回った	3項目中、小は全ての項目で下回り、中は2項目で上回った
⑨ 高大連携を実施している高等学校の割合（21年度 19.2%）	50%	42.7%	—	74.8%	76.2%

⇒ 中学校で「1日1時間以上勉強」「数学の問題を解くときに簡単に解く方法を考える」で全国を上回った。

第4章（重点目標4） 豊かな人生を送るための生涯学習の充実

本冊 80P

効果指標	目標	23年度	24年度	25年度	26年度
⑩ 生涯学習支援ボランティアの個人登録件数（22年度 214人）	400人を上回る	211人	227人	297人	305人
⑪ 生涯学習情報システムのアクセス件数（22年度 541万件）	前年度に比べて10%増加する（毎年度）	580万件 ⇒7%増	750万件 ⇒29.3%増	797万件 ⇒6.3%増	453万件 ⇒43.2%減
⑫ 生涯学習活動の状況（公立図書館の県民一人あたりの貸出図書冊数・公立図書館のレファレンス（資料相談）件数）（※）	全ての項目で前年度を上回る（毎年度）	貸出 6.59冊 ⇒0.02冊増 相談 144,240件 ⇒3,038件減	貸出 6.61冊 ⇒0.02冊増 相談 136,417件 ⇒7,823件減	貸出 6.46冊 ⇒0.15冊減 相談 165,336件 ⇒28,919件増	貸出 6.21冊 ⇒0.25冊減 相談 148,213件 ⇒17,123件減
⑬ 総合型地域スポーツクラブを育成している市町村数（21年度 32市町）	全市町村	46市町村	50市町村	52市町村	52市町村
⑭ 小・中学校の体力テスト合計点の平均値	全国平均を上回る	大震災により全国調査中止	小中ともに全ての項目で下回った	小中ともに全ての項目で下回った	中学女子のみ全国平均を上回った。
⑮ 県文化施設の利用者数及び県が推進する文化諸施策への参加者数の対県人口比率（21年度 62.1%）	80%	55.6%	64.9%	72.6%	61.4%

⇒ トップページへのアクセス数は前年比で2.1倍（89千件⇒187千件）となっている。

※ ⑫の指標のみ、報告書作成時点で把握できる最新数値として、各年度欄は前年度の調査数値を使用